

# 環境公共 通信

「地域づくりの新しいかたち」環境公共

西北版第37号 平成31年3月20日発行  
 西北地域環境公共調整会議事務局  
 〒038-3137 五所川原市大字吹畑字藤巻24-12  
 西北地域県民局地域農林水産部農村計画課  
 TEL0173-35-7172 FAX0173-35-7173

(西北管内初!!)

環境公共推進プロジェクト「山・川・海の恵みに感謝！」水と大地の探検隊  
 (中泊町立小泊小学校) ~ 「芦野頭首工サザエカレー」おいしくいただきました! ~  
 (西北地域県民局の巻 その37)

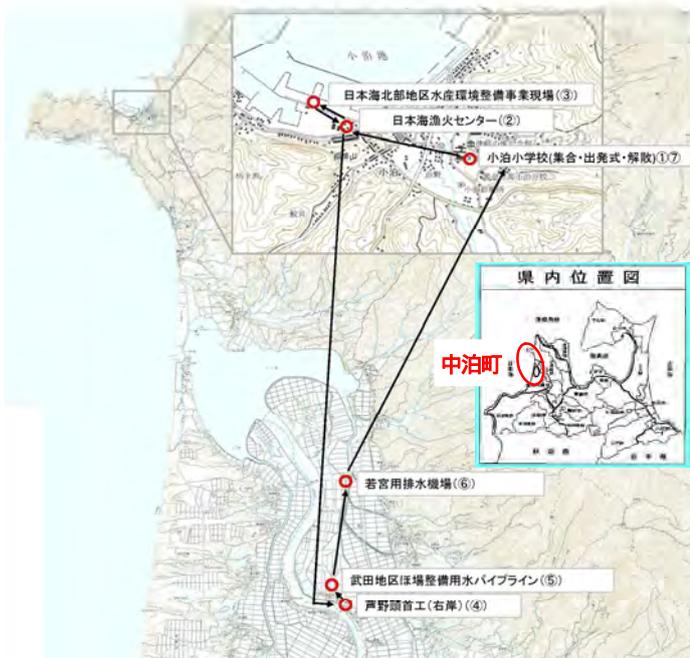
西北管内初となる環境公共推進プロジェクト「山・川・海の恵みに感謝！」水と大地の探検隊  
 (中泊町立小泊小学校)を平成30年10月1日に西北地域県民局・十三湖土地改良区の主催で開催。

小泊小学校の4年生17名、5年生10名の生徒が山(森林の保水能力)、川(頭首工、用排水  
 機場などの農業水利施設)、海(漁港施設)の3分野における見学や体験を通じて、健全な水循  
 環を守り、豊かな地域資源を将来に引き継ぐことの大切さを総合的に学習しました。

また、小泊小学校生徒は山・川・海の恵みによる中泊町の地元の農産物(米・野菜)と水産物  
 (サザエ)で「芦野頭首工サザエカレー」を調理体験・実食し、農林水産業の連携と地産地消に  
 ついて「食」を通じておいしく学びました。

「環境公共推進プロジェクト」<西北地域県民局>  
 「山・川・海の恵みに感謝！」水と大地の探検隊(中泊町立小泊小学校)  
 コースルート

日時:平成30年10月1日(月)8:40~15:50  
 参加者:中泊町立小泊小学校 4年生17人、5年生10人、引率先生4人



【芦野堰<ゴム堰>(芦野頭首工に隣接)】



【芦野頭首工サザエカレー(ゴム堰をイメージ)】  
 ご飯(の堤体で)でカレーを堰上げ!!

【出発式】  
 小泊小学校での出発式において、  
 本日の環境公共推進プロジェクト  
 の安全を誓い、小泊小学校「木村  
 校長」と西北地域県民局地域農林  
 水産部「奈良次長」が固く握手。



～【体験学習等の全貌（抜粋）＜山・川・海の「白文字」は分野別の「恵み」のカテゴリー＞】～



【サザエの殻むき体験】小泊漁協婦人部の全面協力による調理指導に感謝！



【カレー調理の状況】世永環境公共学会会長と江良環境公共コンシェルジュも熱血調理指導！



【サザエカレー盛り付け状況】早く食べたくて身を乗り出しています！



～ 芦野頭首工サザエカレーの調理体験・実食の意味～ 「山」、「川」、「海」の恵みに感謝！

【川さん】「頭首工」って何？

【おべ様】川の上流側を「右岸から左岸」に渡り構造物で堰き止め、川の水位を上昇(堰上げ)させ、下流側の水田へ農業用水を供給するために設置する重要な農業施設だよ。

【川さん】今回の「サザエカレー」と「芦野頭首工」は何が関係あるの？

【おべ様】十三湖土地改良区が管理する「芦野頭首工」に隣接する「芦野堰(ゴム堰)」に見立てたカレー皿の「右岸から左岸」を「中泊産のご飯」で堰き止めて、「サザエカレー」の水位を上昇させることで、「頭首工」による「岩木川の水の堰上げ」を直感してもらうのが狙い！！

【川さん】なぜ、「芦野頭首工サザエカレー」が「山」、「川」、「海」の恵みと関係あるの？

【おべ様】「山(森林土壌の保水力)の恵み」により雨水を涵養し川～海へ「きれいな水」を流す。「川(の水と大地を利用した農業)の恵み」が「米(中泊産米)」、「じゃがいも」、「たまねぎ」、「にんじん」、「トマト等」を育てる。「海(水産物資源)の恵み」が「(中泊産)サザエ等の海の幸」を育てる。

**3分野の恵みの連携**が私達の食生活を支えているんだ！

～平成30年12月9日開催の「きれいな水を守る子供サミット」で小泊小学校は初めて漁港施設等の体験学習の発表をしました！！～



小泊小学校は「きれいな水を守る子供サミット」で、サミット史上初となる魚礁(ぎょしょう)の役割の発表や、芦野頭首工サザエカレーをはじめとした標記の体験学習等の発表を行いました。三村青森県知事からは「オ～」という感激・驚きの歓声も交え、お褒めの言葉を頂きました。



「環境公共」ホームページ：<http://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/agri/kankyokoukyou.html>